文書管理番号：C045-05-1841

|  |
| --- |
| **WEKOアイテム一括登録ツール** |
| **SWORD Client for WEKO** |
|  | **外部仕様書** |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 2017年7月4日 |  |
|  | 第1.0版 |  |
|  | 株式会社アイヴィス |  |
|  | 応用技術開発 |  |
|  | ivis_logo.png |  |

|  |
| --- |
| 基本情報 |
| システム名 | SWORD Client for WEKO |
| 文書名 | 外部仕様書 |
| 作成者 | IVIS 中尾 |
| 概要 | SWORD Client for WEKO (SCfW)はリポジトリ管理モジュールWEKOで構築したリポジトリに対してアイテム一括登録を行うツールである。 |

|  |
| --- |
| 改訂履歴 |
| 版番号 | 章・節 | SCfW | 改訂日 | 担当 | 確認 | 承認 | 概要 |
| 1.0 | 全 | 2.4.0.0 | 2017/6/15 | 中尾 | 八百板 | 八百板 | 新規作成 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

[1. 概要 5](#_Toc486242022)

[1.1. 序文 5](#_Toc486242023)

[1.2. 関連文書 5](#_Toc486242024)

[1.3. 記号 5](#_Toc486242025)

[2. 用語 6](#_Toc486242026)

[3. 動作環境 9](#_Toc486242027)

[3.1. ハードウェア 9](#_Toc486242028)

[3.2. ソフトウェア 9](#_Toc486242029)

[4. システム構成 10](#_Toc486242030)

[4.1. ディレクトリ構成 11](#_Toc486242031)

[4.2. セットアップ 12](#_Toc486242032)

[4.2.1. インストール 12](#_Toc486242033)

[4.2.2. アンインストール 12](#_Toc486242034)

[4.2.3. 起動方法 12](#_Toc486242035)

[5. SCfWによるデータ一括登録 13](#_Toc486242036)

[5.1. リポジトリ接続 15](#_Toc486242037)

[5.2. サービス文書取得 15](#_Toc486242038)

[5.3. 登録データ選択 16](#_Toc486242039)

[5.3.1. メタデータファイル選択 16](#_Toc486242040)

[5.3.2. メタデータフォルダ選択 16](#_Toc486242041)

[5.4. 変換フィルター選択 16](#_Toc486242042)

[5.5. 登録先インデックス選択 16](#_Toc486242043)

[5.6. DOI変更モード 17](#_Toc486242044)

[5.6.1. 通常モード 17](#_Toc486242045)

[5.6.2. DOI変更モード 17](#_Toc486242046)

[5.7. データ一括登録実行 18](#_Toc486242047)

[5.7.1. データ変換 18](#_Toc486242048)

[5.7.2. SWORD通信 18](#_Toc486242049)

[5.7.3. アイテムURLの保存 18](#_Toc486242050)

[5.7.4. データ一括登録の出力 19](#_Toc486242051)

[5.8. サプリメンタルコンテンツ登録 20](#_Toc486242052)

[5.8.1. サプリメンタルコンテンツ登録の流れ 20](#_Toc486242053)

[5.8.2. WEKO側の設定 21](#_Toc486242054)

[5.8.3. サプリメンタルコンテンツのデータ識別 21](#_Toc486242055)

[5.9. 実行ログ 22](#_Toc486242056)

[5.9.1. 操作履歴 22](#_Toc486242057)

[5.9.2. デポジット履歴 22](#_Toc486242058)

[5.9.3. デポジット応答 22](#_Toc486242059)

[6. WEKOデータコンバータ 23](#_Toc486242060)

[6.1. 起動方法 23](#_Toc486242061)

[6.2. データ変換画面の入力項目 23](#_Toc486242062)

[6.3. データ変換実行 23](#_Toc486242063)

[7. フィルター管理 24](#_Toc486242064)

[7.1. フィルター編集 24](#_Toc486242065)

[7.1.1. テンプレート 25](#_Toc486242066)

[7.1.2. メタデータセット 25](#_Toc486242067)

[7.1.3. メタデータ項目 26](#_Toc486242068)

[7.1.4. メタデータ項目タイプ 27](#_Toc486242069)

[7.1.5. メタデータ変換設定 29](#_Toc486242070)

[7.2. フィルター取り込み 32](#_Toc486242071)

[7.2.1. メタデータセット差分表示 32](#_Toc486242072)

[7.3. テンプレート出力 32](#_Toc486242073)

[7.3.1. テンプレートファイル 32](#_Toc486242074)

[8. メタデータファイル 33](#_Toc486242075)

[8.1. アイテムタイプ名カラム 35](#_Toc486242076)

[8.2. メタデータカラム 36](#_Toc486242077)

[8.2.1. テキスト（text） 37](#_Toc486242078)

[8.2.2. テキストエリア（textarea） 37](#_Toc486242079)

[8.2.3. リンク（link） 37](#_Toc486242080)

[8.2.4. チェックボックス（checkbox） 37](#_Toc486242081)

[8.2.5. ラジオボタン（radiobutton） 38](#_Toc486242082)

[8.2.6. プルダウンメニュー（pulldownmenu） 38](#_Toc486242083)

[8.2.7. 氏名（name） 39](#_Toc486242084)

[8.2.8. サムネイル（thumbnail） 40](#_Toc486242085)

[8.2.9. ファイル（file）、課金ファイル（file\_price） 41](#_Toc486242086)

[8.2.10. 書誌情報（biblioinfo） 42](#_Toc486242087)

[8.2.11. 見出し（heading） 43](#_Toc486242088)

[8.2.12. サプリメンタルコンテンツ（supplementalcontents） 43](#_Toc486242089)

[8.3. 登録先インデックスカラム（POS\_INDEX） 44](#_Toc486242090)

[8.4. アイテムキーカラム（ITEM\_KEY） 44](#_Toc486242091)

[8.5. フィードバックメールカラム（FEEDBACKMAIL） 45](#_Toc486242092)

[8.6. CNRIカラム（CNRI） 45](#_Toc486242093)

[8.7. selfDOIカラム（SELF\_DOI\_RA, SELF\_DOI） 46](#_Toc486242094)

[8.7.1. DOI変更モード 47](#_Toc486242095)

[8.7.2. 自動発番モードの場合 47](#_Toc486242096)

[8.7.3. 自由入力モードの場合 48](#_Toc486242097)

[8.8. アイテムURL（WEKO\_URL） 49](#_Toc486242098)

[8.9. 登録データ識別キー（REGISTER\_KEY） 49](#_Toc486242099)

[8.10. サプリデータ識別キー（SUPPLEMENT\_KEY） 50](#_Toc486242100)

# 概要

## 序文

SWORD Client for WEKO（以下、SCfW）はリポジトリ管理モジュール「WEKO」で構築したリポジトリに対して、アイテムの一括登録・更新を行うツールである。

本書では、SCfWの動作環境とセットアップ手順、および全機能の外部仕様について記述する。本書の内容は、WEKO Ver2.4.0／SCfW Ver2.4.0 に準拠する。

## 関連文書

SCfW の前提システムとなるWEKOの仕様に関して以下の文書がある。

・文書管理番号C045-05-1841：「 WEKO外部仕様書」

## 記号

本書で用いる記号の意味について表 1に示す。

表 1 記号

|  |  |
| --- | --- |
| 記号 | 意味 |
| 『　』 | 外部資料をあらわす |
| [　] | 文書内の参照をあらわす |
| （　） | 補足・言い換えをあらわす |
| 「　」 | 引用、または文意を明確にするための強調・区切りをあらわす |
| ‘　’ | 書式をあらわす |

# 用語

本書で用いる用語の意味について示す。

表 2 用語

| 用語 | 意味 |
| --- | --- |
| リポジトリ | 大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス。原則として大学や学術団体(1機関)が1つのリポジトリを運用する。 |
| 国立情報学研究所 | WEKOの開発元である大学共同利用機関法人。WEKOを利用して、JAIRO Cloudおよび情報学広場というリポジトリのシステム環境を構築・提供している。以下、NIIという。http://www.nii.ac.jp/ |
| WEKO | NIIが開発しているNC2上で動作する学術コンテンツを管理するリポジトリモジュール。WEKOとはスワヒリ語でリポジトリを意味する。http://weko.at.nii.ac.jp/WEKOには1つのリポジトリのみ構築できる。WEKOモジュールともいう。 |
| WEKOリポジトリ | WEKOおよび関連ソフトを用いて構築したリポジトリ。 |
| NetCommons2 | NIIが開発しているCMS（Contents Management System)とLMS (Learning Management System)とグループウェアを統合したコミュニティウェア。以下、NC2という。http://www.netcommons.org/ |
| SWORD Client for WEKO（SCfW） | WEKOリポジトリに対して、リポジトリ管理者がアイテムの一括登録・更新を行うためのWindowsアプリケーション。WEKOが提供するSWORD APIを使用してアイテム登録を実施する。 |
| WEKOデータコンバータ | コンテンツデータからWEKOインポート形式ファイルを作成するためのプログラム。 |
| アイテム | WEKOリポジトリを通じてリポジットする情報の１単位。アイテムはコンテンツファイルおよびアイテムタイプに定められたメタデータスキーマに準拠したメタデータから構成される。アイテムは1つのアイテムタイプに紐付いており、複数のアイテムタイプと紐付けることはできない。 異なるメタデータで構成させるアイテムを登録したい場合、新たなアイテムタイプを作成することで対応できる。 |
| アイテムタイプ | DublinCoreやjunii2などのメタデータスキーマで規定される要素から構成される。リポジトリ管理者はアイテムに登録すべきメタデータを検討し、検討結果にあわせたアイテムタイプを独自に作成する。例）紀要論文が登録すべきメタデータ項目と研究データが登録すべきメタデータ項目が異なるため、紀要論文向けのアイテムタイプと研究データ向けのアイテムタイプをそれぞれ作成する必要がある。 |
| メタデータ / メタデータ項目 | アイテムに付加するアイテム自身についてのデータ（タイトル、著者、出版者）。アイテムがどのようなメタデータを持つかは、アイテムタイプのメタデータ項目でよって定義する。 |
| インデックス | WEKOに登録したアイテムをまとめる単位(カテゴリ)。WEKOに登録したアイテムは必ず1つ以上のインデックスに所属する。インデックスは複数の子インデックスとアイテムを持つことができる。 |
| コンテンツデータ | WEKOリポジトリにアイテムとして登録するデータ。SCｆWで一括登録するコンテンツデータは、メタデータファイルとコンテンツファイルで構成する。 |
| メタデータファイル /テンプレート（ファイル） | 登録アイテムに付加するメタデータを記入した表形式のファイル。Excel、TSV、CSVのファイル形式があり、いずれもメタデータ項目のカラム名を記入するヘッダ行と登録メタデータを記入するメタデータ行で構成する。ヘッダ行のみ記述した入力用の雛形のファイルをテンプレート、またはテンプレートファイルという。 |
| コンテンツファイル | アイテムに登録するファイル。論文ファイルとしてのPDFファイルやテキストファイルのほか、画像や動画、音声などのメディアファイルなどがある。 |
| WEKOインポート形式ファイル | 一括登録するコンテンツデータを格納したZIPファイル。WEKOのインポート機能で使用することができる。WEKOデータコンバータで作成することができる。SWORD通信で送信するために、SCｆWのデータ一括登録でもプログラムが内部的に作成する。 |
| （データ変換）フィルター | メタデータファイルをWEKOインポート形式ファイルににコンバートするための変換ルール。メタデータファイルの列とアイテムタイプのメタ項目の対応付けを定義する。SCｆWでは複数のフィルターを作成することが可能で、データ変換時には使用するフィルターを選択する。 |
| DOI | デジタルオブジェクト識別子（Digital Object Identifier、略称DOI）は、インターネット上のドキュメントに与えられる識別子である。【ISO 26324】https://www.doi.org/WEKOでは下記4種類のDOIを扱うことができる。　JaLC, JaLC(国立国会図書館), CrossRef, DataCiteWEKOへのコンテンツ登録時に登録者が上記から選択したDOI(コンテンツへのURL)をアイテムに対して割り当てる。利用者がDOIにアクセスすると、DOIサーバーは実際にコンテンツを管理しているWEKOのコンテンツページへリダイレクトする。 |
| DOI変更モード | データ登録でアイテムに付与済みのDOIを変更することができるSCｆWの特殊なデータ登録モード。リポジトリの移行など、DOI設定を引き継ぐ場合などに使用する。 |
| JaLC | ジャパンリンクセンター(Japan Link Center、略称JaLC)は、電子化された学術論文、書籍、論文付随情報、研究データなどにDOIを登録し、コンテンツのURLを管理するシステム。https://japanlinkcenter.org/top/WEKOが割当てたDOIはIRDBを経由してJaLCが有効化する。 |
| CrossRef | 電子ジャーナルのコンテンツにDOIを登録し、コンテンツのURLを管理するシステム。https://www.crossref.org/WEKOが割当てたCrossRef DOIはJaLC経由で有効化される。 |
| DataCite | 電子化された研究データにDOIを登録し、コンテンツのURLを管理するシステム。https://www.datacite.org/WEKOが割当てたDataCite DOIはJaLC経由で有効化される。 |
| CNRI | Corporation for National Research Initiativesが開発したハンドルシステム。CNRIハンドルシステムが割当てたDOIをCNRIと呼ぶ。https://www.cnri.reston.va.us/WEKOリポジトリへのコンテンツ登録時、リポジトリ管理者が設定を有効化した場合のみCNRIをアイテムに対して割り当てることができる利用者がCNRIにアクセスすると、CNRIハンドルシステムは実際にコンテンツを管理しているWEKOのコンテンツページへリダイレクトする。 |
| IDサーバー | YハンドルURLを発行するハンドルシステム。YハンドルURLは、DOIと同様にインターネット上のコンテンツに与えられる識別子である。WEKOリポジトリへのコンテンツ登録時、リポジトリ管理者が設定を有効化した場合のみIDサーバーが発行したYハンドルURLを割り当てることができる。 |
| サプリメンタルコンテンツ | WEKOに登録したアイテムの作成に利用したプログラム、発表資料、研究データなどを指す。別のWEKOリポジトリに登録したサプリメンタルコンテンツのアイテムへのリンクをアイテムのメタデータ項目（サプリメンタルコンテンツリンク）として作成することができる。 |
| サプリWEKO /メインWEKO | サプリメンタルコンテンツを登録するためのWEKOリポジトリ。サプリメンタルコンテンツリンクを持つアイテムを登録したWEKOリポジトリをサプリWEKOに対してメインWEKOと呼ぶ。 |
| SWORD | Simple Web-service Offering Repository Deposit(以下、SWORD)は、コンテンツをリポジトリに登録するためのプロトコル。コンテンツの登録(POST)、更新(PUT)、削除(DELETE)におけるインターフェースを定義する。http://swordapp.org/WEKOはSWORDのプロトコル仕様に記載されているインターフェースを用いてコンテンツの登録、更新、削除ができる。特にSWORDプロトコルに準拠したデータの受け口をSWORD APIという。 |
| サービス文書 | SWORDを実装したサーバーが提供するサービスに関する情報。SWORD APIによりサーバから取得することができる。SWORDのバージョンやサポートする拡張機能などをXMスキーマで保持する。 |
| リポジトリ管理者 | WEKOリポジトリを管理するユーザー。WEKOモジュールの設定、インデックスツリー設定、アイテムタイプ設定ができる。 |
| 外部著者ID | 著者を特定する識別子。リポジトリによって名称が異なり、WEKOではCiNii ID、研究者リゾルバーID、科研費研究者番号が利用できる。また、WEKOではメールアドレスおよびリポジトリ管理者が任意に登録した著者の識別子も外部著者IDとして扱う。 |

# 動作環境

SCfWはWindows上で動作するデスクトップ・アプリケーションである。使用にあたって専用のインストーラを使用してセットアップ作業を行う必要がある。

## ハードウェア

SCfWの動作に必要なハードウェアについて表 3 ハードウェア要件に示す。

表 3 ハードウェア要件

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 要件 | 備考 |
| メモリ | 256MB （512MB以上を推奨） | 一括登録するメタデータファイルのサイズに応じたメモリが必要 |
| HDD | インストール時に100MB以上の空き容量が必要。また、登録するコンテンツデータと同じドライブにデータ変換用の作業領域が必要（登録するデータのサイズと同程度の空き容量が必要）。 |  |
| ネットワーク | インターネットを介してWEKOのリポジトリに接続できる環境であること。HTTP/HTTPS接続が利用できる環境であること。 |  |

## ソフトウェア

SCfWのソフトウェア要件必要なハードウェア環境を表 4 ソフトウェア要件に示す。

表 4 ソフトウェア要件

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 要件 | 備考 |
| OS | Microsoft Windows 7 / 8.1 / 10（日本語版、32ビット/64ビット） | SCfWは32ビットアプリケーションとして動作 |
| フレームワーク | Microsoft .NET Framework 4.0 |  |
| アプリケーション/ライブラリ | Microsoft Office 2007 以降（Microsoft Excel） | メタデータファイル（Excel形式）のデータ変換を行う場合に必要 |
| 形態素解析エンジンMecab ver0.97 （Windows版） | 必須（インストーラに同梱）著者の姓名分離に使用 |
| ローマ字カナ変換辞書 「romaKana」 ver1.0 |
| NameSeparator |
| ICSharpCode.SharpZipLib | GPLのZip圧縮ライブラリ |

# システム構成

 WEKOはSWORDサーバー機能を備えており、SWORD通信によるコンテンツパッケージ(論文ファイルとメタデータ双方を含む、「WEKOインポート形式ファイル(.zip)」)の投稿に対応している。

SCfWでは、論文ファイルとExcelまたは、TSV形式のメタデータファイルから「WEKOインポート形式ファイル」を作成（データ変換）し、SWORD通信によりWEKOリポジトリへアイテムとして登録する。



図 1 SCfWによる一括データ登録

## ディレクトリ構成

 SCfW動作環境のディレクトリ構成を表 5 ディレクトリ構成に示す。

SwordClientディレクトリ以下は、インストーラがセットアップ時に作成する。

<ユーザー>ディレクトリ以下は、プログラム実行時に作成する。

表 5 ディレクトリ構成

| ディレクトリ/主要ファイル | 内容 |
| --- | --- |
| SwordClientForWeko/ | SCfWインストールディレクトリ。デフォルトは、%ProgramFiles%\SwordClientForWeko\（32ビットOS） “C:\Program Files\ SwordClientForWeko\”（64ビットOS） “C:\Program Files (x86) \ SwordClientForWeko\” |
|   | SwordClientForWeko.exe | SCfWの実行ファイル。 |
|   | SwordClientForWeko.exe.config | SCfWの環境設定ファイル。 |
|   | WekoDataConverterApp.exe | データコンバータの実行ファイル。 |
|   | WekoDataConverterApp.config | データコンバータの環境設定ファイル。 |
|   | filters/ | データ変換フィルターのプリセットデータ（サンプルフィルター）。<ユーザーフォルダ>/AppData/Roaomg/SCfW/に初期フィルタとしてSCｆWがコピーする。 |
|  | romaKana/ | MeCab用ローマ字カナ変換辞書データ。 |
| <ユーザー>/AppData/Roaming/ | Windowsユーザー毎のアプリケーションデータ保管フォルダ。 |
|  | SCfW/ |  |
|  |  | deposit.log | デポジット履歴。 |
|  |  | operation.log | 操作履歴。 |
|  |  | filters/ | ログインユーザーが作成・編修したデータ変換フィルターのファイルを保存する（<フィルター名>.wdcf）。 |
|  | WEKO/ |  |
|  |  | SCfW.log | アプリケーションログ。実行時エラーの詳細などを出力する。 |
| <ユーザー>/AppData/Local/ | Windowsユーザー毎のアプリケーションデータ保管フォルダ。 |
|  | Weko/SwordClientForWeko.exe\_Url\_u2cuautehknbaqecmfmaihmpmyvt5ljp/2.4.0.0/ | SCfW用のローカルデータフォルダ。 |
|  |  | user.config  | リポジトリへの接続設定（アカウント情報）を保存する。 |

## セットアップ

インストール先のPCでSCfWを実行可能な状態へのセットアップを行う。

### インストール

専用のインストーラを実行により表示される画面の指示に従ってセットアップ作業を行う。インストール先のフォルダを指定することが出来る。

SCfWの実行に必要なソフトウェア表 4 ソフトウェア要件のインストールも合わせて実行する。

### アンインストール

コントロールパネルのプログラム管理（プログラムと機能）より、SCfWをアンインストールする。インストーラで配置したプログラムの削除を行う。登録を行ったコンテンツデータと作成したフィルターについては削除しない。

### 起動方法

スタートメニューより、SCfWを起動することができる。起動後に表示される画面の操作により、データ一括登録を行うことができる。

# SCfWによるデータ一括登録

 SCfWによるデータ一括登録では、ユーザーが準備したコンテンツデータをSWORDで登録可能な「WEKOインポート形式」へのデータ変換と、SWORD通信を使用したデータ登録を一括して実行することができる。



図 2 データ一括登録

SCfWによるデータ一括登録の手順を表 6 データ一括登録手順に示す。これらの手順はSCfWが表示するデータ一括登録用の画面でユーザー操作として行うことができる。

表 6 データ一括登録手順

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 手順 | 内容 |
| 1 | リポジトリ接続設定 | データを一括登録するリポジトリへの接続設定を行うことができる。 |
| 2 | サービス文書取得 | 接続中のリポジトリから取得したサービス文書の内容を画面に表示して、確認することができる。 |
| 3 | 登録データ選択 | 一括登録するコンテンツデータをローカルPC内のファイルシステムから選択することができる。 |
| 4 | 変換フィルター選択 | 登録するコンテンツデータの「WEKOインポート形式」へのデータ変換に使用する変換フィルターを選択することができる。 |
| 5 | 登録先インデックス選択 | データ登録先リポジトリのインデックスツリーからコンテンツデータをアイテムとして登録するインデックスを選択することができる。 |
| 6 | DOI変更モード | メタデータファイルに記述した値で登録するアイテムのDOIを設定することができる。 |
| 7 | データ一括登録実行（システム処理） | 指定したフィルターでデータ変換を行い、WEKOリポジトリとのSWORD通信によりコンテンツデータの一括登録を行うことができる。 |
| 8 | サプリメンタルコンテンツ登録（システム処理） | メインWEKO、サプリWEKOの２つのリポジトリに対してデータ登録を行い、同時にメインWEKOに登録したアイテムからサプリWEKOリポジトリに登録したアイテムへのサプリメンタルコンテンツリンクの作成も行うことができる。 |
| 9 | 実行ログ | 各種操作の実行ログ、エラーログの記録、参照を行うことができる。 |

## リポジトリ接続

リポジトリへの接続情報として表 7 アカウント情報の設定を行うことができる。設定した内容でリポジトリと接続（サービス文書の取得）を試行し、接続状態を画面の出力で確認することができる。

「アカウント情報」は名前を付けて保存し、以後リストから選択して使用することができる。また、自動接続するデフォルトのアカウントをユーザーが任意に指定できる。アカウント情報はユーザーフォルダ内のuser.configに保存される（パスワードは暗号化して保存）。

表 7 アカウント情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | 項目名 | 入力 | 内容 |
| 1 | アカウント名 | 必須 | 識別用の名称。 |
| 2 | ユーザーID | 必須 | リポジトリ管理者のユーザーID。コンテンツ登録先のNC2/WEKOリポジトリ上のユーザーIDで、「主担」以上の権限が必要。 |
| 3 | パスワード | 必須 | リポジトリ管理者のユーザーパスワード。 |
| 4 | 代理投稿（X-On-Behalf-Of） | オプション | 代理投稿を行う場合に、コンテンツの登録者として設定するユーザーのIDを指定する。 |
| 5 | WEKOトップページ | 必須 | コンテンツ登録先のリポジトリURI。WEKOリポジトリでSWORDサービス文書を提供するURIを指定する。 |
| 6 | UTF-8/ShiftJIS | 必須 | リポジトリサーバの文字コードがUTF-8かどうか（デフォルトOFF）。WEKOインポート形式ファイル（zip）の文字コードとなる。user.configには保存されない。 |
| 7 | マルチパートアップロード | 必須 | SWORD通信時にデータをマルチパート形式で送信するかどうか（デフォルトON）。user.configには保存されない。 |

## サービス文書取得

 リポジトリからSWORDで取得したサービス文書の内容（HTTPステータス、レスポンスヘッダ、レスポンスボディ）を画面に出力して確認することができる。

## 登録データ選択

ローカルPCのファイルシステムから登録対象のコンテンツデータ（コンテンツファイル、メタデータファイル）を選択することができる。

### メタデータファイル選択

 登録対象データを記述したメタデータファイル、またはデータ変換済のWEKOインポート形式ファイルを選択することができる（ファイル選択画面）。

選択可能なファイルの形式を表 8 登録データファイルに示す。

表 8 登録データファイル形式

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 形式 | 拡張子 | 備考 |
| メタデータファイル（EXCEL） | xls / xlsx | EXCEL形式のメタデータファイル |
| メタデータファイル（TSV） | tsv / txt | TAB区切りテキストのメタデータファイル |
| メタデータファイル（CSV） | csv | カンマ区切りテキストのメタデータファイル |
| WEKOインポート形式 | zip | WEKOモジュールのインポート機能で登録可能なWEKOインポート形式ファイル |

※メタデータファイルについては8メタデータファイルを参照

### メタデータフォルダ選択

 複数のメタデータファイルを一括して登録する場合、メタデータファイルを含むフォルダを選択することができる（フォルダ選択画面）。選択したフォルダ、および、その下位フォルダ内の全てのメタデータファイル(Excelのみ)をが登録対象となる。

## 変換フィルター選択

登録するコンテンツデータのデータ変換に使用するフィルターをリストから選択することができる。フィルターはユーザーが事前に作成する必要がある。7.フィルター管理を参照のこと。

## 登録先インデックス選択

画面に出力した接続中リポジトリのインデックスツリーから、コンテンツデータをアイテムとして登録するインデックスを選択することができる。登録先のインデックスは複数指定することができる（登録アイテムは指定した複数のインデックスで共有する）。

登録先インデックスが未指定の場合、WEKOリポジトリのルートインデックス以下に「import/ import-<YYYY-MM-DDJSThh:mm:ss:nnnnnnn>」の形式で作成日時をもとに作成したインデックスが登録先となる。

また、登録先となるインデックスの新規作成を指示することができる（実際の作成はデータ一括登録時に行われる）。

## DOI変更モード

SCfWのデータ一括登録では、アイテムに対するDOI suffixの付与について通常モードとDOI変更モードの２つのモードがある。

DOI suffix付与に関するメタデータの入力は8.7 selfDOIカラム（SELF\_DOI\_RA, SELF\_DOI）を参照。

### 通常モード

* SCfW起動時のデフォルトモード
* リポジトリ管理者によるWEKOモジュール設定に基づいて、DOI suffix自動発番／自由入力のいずれかが可能
* すでにDOI付与済みのアイテムに対するDOI変更は不可

### DOI変更モード

* 付与済みのDOI維持したままリポジトリを移行する場合などに使用する特殊モード
* リポジトリ管理者によるWEKOモジュール設定を無視してDOI suffix自動発番／自由入力のどちらも可能
* すでにDOI付与済みのアイテムに対するDOI変更が可能
* DOI変更モードは取り扱いに注意が必要であり、モードの指定時に操作者に対して自己責任である旨の警告が表示される
* DOI変更モード中はSCfWの画面上に「DOI変更モード中での操作中」であることを操作者に明示される
* データ一括登録が正常に完了するとDOI変更モードは解除される

表 9 DOI suffix付与

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| DOI変更モード | WEKO設定 | 自動発番 | 自由入力 | DOI変更 | 備考 |
| 通常モード | 自動発番モード | 可 | 不可 | 不可 |  |
| 自由入力モード | 不可 | 可 | 不可 |  |
| DOI変更モード | 自動発番モード | 可 | 可 | 可 | WEKO設定に関係なくDOI設定が可能。 |
| 自由入力モード |

## データ一括登録実行

5.1～5.5 での入力・設定でリポジトリへのデータ一括登録を以下の手順で実行することができる。

### データ変換

データ変換済のWEKOインポート形式ファイルの入力時は、本項の処理は行わない。

入力メタデータファイルを読み込み、データ行ごとにフィルターで定義されたデータ変換を実行する。１データ行（＝１アイテム）毎に１つのWEKOインポート形式ファイルを作成する。

データ変換の進捗状況は随時、画面に出力され確認することができる。エラーが発生した場合は、エラー内容を画面とログファイルに出力し、処理は中止される。原因がメタデータファイルのデータ不正の場合は、問題箇所ごとに出力されるエラーと原因を確認することができる。

### SWORD通信

登録先のインデックスを新規に作成する場合は、作成するインデックスの情報がSWORD通信により、登録先リポジトリに送信される。

データ変換で作成したWEKOインポート形式ファイルをSWORD通信により、登録先リポジトリに送信される。巨大サイズのファイル送信を回避して通信安定化を図るため、SWORD通信は１アイテム毎に個別に行う。

データ登録の進捗状況は随時、画面に出力され確認することができる。エラーが発生した場合は、エラー内容を画面とログに出力し、処理は中止される。登録が完了したアイテムについてはロールバックは行わない（エラー発生までのデータ登録は完了する）。

SWORD通信により、コンテンツデータ（メタデータ、コンテンツファイル）をアイテムとしてリポジトリに登録することができる。アイテムタイプは使用したフィルターで定義したもののうち、メタデータファイルで指定したものとなる。リポジトリにアイテムタイプ名の一致するアイテムタイプが存在しない場合は、その作成も同時に行う。アイテムタイプ名の一致したアイテムタイプの設定がフィルターと異なる場合は、別名でアイテムタイプを作成し、そちらに紐付けてアイテムの登録を行う。別名の決定は、「<元のアイテムタイプ名>\_<0埋め2桁の連番>」の形式で決定する。連番は2から開始、同名のアイテムタイプが存在しなくなるまで１ずつ加算してアイテムタイプ名を決定する。

### アイテムURLの保存

登録したアイテムにアクセスするためのURLがSWORD通信のレスポンスで返却される。このアイテムURLをメタデータファイルの「WEKO\_URL」列に記入し上書き保存することができる。「WEKO\_URL」を保存したメタデータファイルを同じリポジトリへのデータ一括登録での入力データとして使用することで、登録済のアイテムのメタデータやファイルを更新することができる。

メタデータファイルの上書き保存の前には、ユーザーに確認メッセージが表示され、上書き保存するかどうかを選択することができる。確認はメタデータファイルごとに行われる（保存/全て保存/保存しない/全て保存しない）。「全て保存」「全て保存しない」を選択することにより、以後の確認をスキップすることができる。

### データ一括登録の出力

データ一括登録では、以下のファイルを入力したメタデータファイルと同じフォルダに出力する。

表 10 データ一括登録の出力ファイル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 形式 | ファイルパス | 備考 |
| WEKOインポート形式ファイル | <入力メタデータファイル名>\_<連番>.zip<連番>：1～登録データ数 | 入力メタデータファイル内のデータ行（＝登録アイテム）単位に作成する。 |
| インデックスツリー作成ファイル | sub\_index\_tree.-<DestID>\_<YYYYMMDD\_hhmmss>.xml<DestID>：作成先インデックスID<TimeStamp>：登録日時 | 登録先としてインデックスを新規に追加する場合に作成。 |
| メタデータファイル（TSV） | <入力メタデータファイル名>.tsv | 入力メタデータファイルがEXCEL形式の場合、いったんTSV形式に変換する。 |
| データ変換ログ | Convert\_<変換日時>.txt<変換日時>：YYMMDDhhmmss | データ変換の実行ログ。データ行毎の変換成否、エラー原因を出力。 |
| データ投稿ログ | Deposit\_<投稿日時>.txt<投稿日時>：YYMMDDhhmmss | SWORD通信によるデータ登録ログ。登録したWEKOインポート形式ファイルパスと登録アイテムURLを出力。 |

## サプリメンタルコンテンツ登録

SCfWによるサプリメンタルコンテンツ登録では、サプリメンタルコンテンツを管理する「サプリWEKO」とサプリメンタルコンテンツへのリンクを持つメインのコンテンツを管理する「メインWEKO」の２つのリポジトリへのアイテム登録を一括して行うことができる。されに、「メインWEKO」に登録したアイテムのサプリメンタルコンテンツ属性に対して、「サプリWEKO」に登録したアイテムへのサプリメンタルコンテンツリンクを作成することができる。



図 3サプリメンタルコンテンツ登録

### サプリメンタルコンテンツ登録の流れ

２つのリポジトリへ登録を行うため、それぞれのリポジトリに対して5.1～5.6 の手順を実行することができる。データ一括実行後の処理はシステムが以下の順で行う。

（サプリメンタルコンテンツ登録）

1. サプリWEKOへの登録データのデータ変換
2. メインWEKOへの登録データのデータ変換
3. サプリWEKOへのデータ登録（SWORD）
4. メインWEKOへのデータ登録（SWORD）

 ※エラーチェックのためデータ変換を先に行う

### WEKO側の設定

サプリメンタルコンテンツの登録には、WEKO側のリポジトリ管理機能で以下の設定が必要となる。詳細は、『C045-05-1841 WEKO外部仕様書』を参照。

表 11 サプリ登録に必要なWEKO設定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| リポジトリ | 設定機能 | 設定内容 |
| メインWEKO | サプリメンタルWEKO設定 | サプリWEKOのURLを設定する。 |
| PrefixID（Yハンドル）取得 | IDサーバーのPrefixID（Yハンドル）を取得する。 |
| サプリWEKO | PrefixID（Yハンドル）取得 | IDサーバーのPrefixID（Yハンドル）を取得する。 |
| アイテム査読設定 | サプリメンタルコンテンツの査読はOFF(自動承認)とする。 |
| アイテム公開設定 | 査読承認後、自動公開とする。 |

### サプリメンタルコンテンツのデータ識別

サプリメンタルコンテンツリンクの作成するには、SWORDによる登録時にリンクするサプリメンタルコンテンツのアイテムへアクセスするサプリURLが必要になる。メインWEKOとサプリWEKOへの登録を一括して行う場合、サプリURLが未決定のため、以下の手順を踏むことでSCfWはリンクするデータの識別を行う。

1. サプリWEKOに登録するコンテンツに登録データの識別キー（REGISTER\_KEY）を設定し、メタデータファイルに記入
2. メインWEKOに登録するコンテンツにサプリメンタルコンテンツとしてリンクするデータの識別キーをサプリ識別キー（SUPPLEMET\_KEY）として設定し、メタデータファイルに記入
3. サプリWEKOへデータ登録（SWORD）
4. サプリWEKOに登録したサプリメンタルコンテンツのアイテムURLでメインWEKOへ登録するコンテンツのサプリメンタルコンテンツ属性に設定
5. メインWEKOへデータ登録（SWORD）、サプリメンタルコンテンツリンク作成

## 実行ログ

### 操作履歴

ログファイル（<ユーザー>/AppData/Roaming/SCdW/operation.log）に保存したSCfWの操作ログをリスト表示することができる。

表 12 操作ログ

|  |  |
| --- | --- |
| タイミング | ログ内容 |
| SCfW起動 | 日時 |
| SCfW終了 | 日時 |
| リポジトリ接続 | 日時、接続URI |
| データ一括登録開始 | 日時、接続URI |
| データ一括登録完了 | 日時、接続URI |

### デポジット履歴

ログファイル（<ユーザー>/AppData/Roaming/SCdW/deposit.log）に保存したSCfWのデータ登録ログをリスト表示することができる。

### デポジット応答

SCfW起動後に最後に実行したSWORD通信のHTTPステータス、レスポンスヘッダ、レスポンスボディを画面に表示し、確認することができる。

# WEKOデータコンバータ

WEKOデータコンバータは、コンテンツデータから「WEKOインポート形式」ファイルを作成するツールである。SCfWと同様のデータ変換を行うが、リポジトリへのデータ登録は行わない。作成したファイルは、WEKOモジュールのインポート機能に入力、アイテムとして登録することができる。

## 起動方法

SCfWの画面メニューから起動することができる。また、スタートメニューから単体でも実行可能。起動後に表示されるデータ変換画面の操作により、メタデータファイルをデータ変換することができる。

## データ変換画面の入力項目

 画面上から以下のデータ変換条件として以下を入力することができる。

表 13 データ変換画面の入力項目

|  |  |
| --- | --- |
| 画面項目 | 内容 |
| 変換フィルター | 作成済の変換フィルターをリストから選択することができる。 |
| UTF-8 | 登録先のリポジトリの文字コードがUT-8かどうか。WEKOインポート形式ファイル（zip）内のファイル名の文字コードを決定する。 |
| メタデータファイルパス | データ変換するコンテンツデータのメタデータファイルを選択することができる（ファイル選択画面）。指定可能なファイル形式は表 8 登録データファイル形式を参照。 |
| パッケージ出力パス | WEKOインポート形式ファイル（zip）の出力パスを選択することができる（ファイル保存画面）。 |

## データ変換実行

入力項目に指定した条件でデータ変換を実行し、WEKOインポート形式ファイルを作成することができる。

SCfWでのデータ変換と異なり、メタデータファイルに記述されたデータ全てを１ファイルに出力することができる。データ変換でエラーが発生した場合は、エラー内容を画面とログに出力し、処理は中止される。

# フィルター管理

SCfWはデータ一括登録時に、フィルターで定義された変換ルールに従って、コンテンツデータからWEKOインポート形式ファイルを作成することができる。

フィルターはSCfWのフィルター管理機能を使用して作成することができる。作成したデータ変換フィルターは、以下のフォルダ内にファイル（.wdcf）として保存される。他PCのSCfWで作成したフィルターをコピーして使用することもできる。

**フィルターファイル保存場所：**

<ユーザーフォルダ>/AppData/Roaming/SCfW/filters/<フィルター名>.wdcf

## フィルター編集

SCfWのフィルター編集画面の操作により、テンプレートとメタデータセットの情報を定義したフィルターを作成・編集することができる。フィルターは複数作成することができる。１つのフィルターには複数のメタデータセットを定義することができる。メタデータセットは、リポジトリ内のアイテムタイプに対応する。

フィルター情報

テンプレート

メタデータセット１

メタデータセット２

…

メタデータ項目１

メタデータ項目２

メタデータ項目３

…

図 4 フィルタ情報

### テンプレート

フィルターの識別情報と登録するコンテンツデータのメタデータファイル形式を定義することができる。

表 14 テンプレート

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容 |
| フィルター名 | フィルターの名称。 |
| 解説 | フィルターの説明コメント。 |
| アイテムタイプカラム名 | アイテムタイプを記述するカラム（データ列）の名前。 |
| ヘッダ行番号 | データ列の名前を記述するヘッダの行番号（１～）。 |
| メタデータ開始行番号 | 先頭のメタデータの行番号（＞ヘッダ行番号）。 |

### メタデータセット

登録するアイテムのアイテムタイプを定義することができる。アイテムタイプには画面の入力により、メタデータ項目を追加することができる。また、別の名前のアイテムタイプとしてコピーを作成することができる。

データ一括登録時にリポジトリに同名のアイテムタイプが存在しない場合はシステム（WEKOモジュール）が追加する。同名が存在してもアイテムタイプの設定（メタデータ項目の数、定義順、属性型）が異なる場合は、別名でアイテムタイプを追加する。

表 15 メタデータセット

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容 |
| アイテムタイプ名 | アイテムタイプの識別名。 |
| アイテムタイプ種別 | アイテムタイプの資源タイプ（NIItype）。 |

### メタデータ項目

登録するアイテムのメタデータ項目のデータ型を定義することができる。また、コンテンツのメタデータをどの項目に設定するかの対応付けも行うことができる。

アイテムの基本メタデータ項目については定義が必須であり、いくつかの設定は変更することができない。詳細は表 17 基本メタデータ項目を参照のこと。

表 16 メタデータセット

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| メタデータ項目名 | メタデータ項目の識別名。 |
| メタデータ項目タイプ | メタデータ項目の属性タイプ。詳細は7.1.4メタデータ項目タイプを参照。 |
| 必須オプション（true/false） | メタデータ項目を必須入力項目とするかどうか。trueの設定で未入力の場合、アイテムの登録はエラーとなる。 |
| 複数可オプション（true/false） | メタデータ項目に複数の値の設定を可能とするかどうか。※以下のタイプのメタデータ項目は必ずtrueで設定変更不可。・チェックボックス（checkbox）・サプリメンタルコンテンツ（supplementalcontents）※以下のタイプのメタデータ項目は必ずfalseで設定変更不可。・ラジオボタン（radiobutton）・プルダウン（pulldown）・課金ファイル（file\_price）・書誌情報（bibloinfo）・見出し（heading） |
| 一覧表示オプション（true/false） | メタデータ項目を「一覧表示形式」のアイテム検索結果に表示するかどうか。trueに設定したメタデータ項目は、検索結果のアイテム表示でタイトルの下に設定値が表示される。 |
| 改行指定オプション（true/false） | 入力オプション（一覧表示）がtrueの場合に有効。複数メタデータを一覧表示する際に、各メタデータ毎に改行して出力するかどうか。 |
| 非表示オプション（true/false） | メタデータ項目を一般ユーザーに対して非表示とするかどうか。 |
| メタデータ変換設定 | メタデータ項目を対応付けるメタデータファイルのデータ列のカラム名。メタデータ項目タイプによっては、複数のデータ列を設定する。詳細は7.1.5メタデータ変換設定を参照のこと。 |
| デリミタ | 値を複数入力できるメタデータで値を区切るための文字列。複数可オプションがONの場合に使用する。メタデータファイルの１つのデータ列にデリミタ区切りで複数の値を記述する。 |
| 候補値 | 選択肢を設定するメタデータ項目タイプでの選択項目。パイプ（|）区切りで複数の項目値を設定する。 |
| Dublin Coreマッピング | メタデータが対応するDublin Coreの語彙。 |
| JuNii2マッピング | メタデータが対応するJuNii2のelement。 |
| 言語 | メタデータの表示言語（japanese/english/未設定）。利用者の表示言語にあったメタデータ項目のみが表示される。 |

表 17 基本メタデータ項目

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目名 | 項目タイプ | 入力オプション | Dublin Coreマッピング | JuNii2マッピング | 言語 |
| タイトル | text | 必須/一覧表示/改行指定 | title | title/alternative | japanese |
| タイトル(英) | text | 必須/一覧表示/改行指定 | title | title/alternative | english |
| 言語 | text | 必須 | language | language |  |
| キーワード | text |  | subject | subject | japanese |
| キーワード(英) | text |  | subject | subject | english |
| 公開日 | date | 必須 | date | date |  |

### メタデータ項目タイプ

メタデータセットで定義可能なメタデータ項目のタイプは以下の通り。

表 18 メタデータ項目タイプ

| No | 項目タイプ | 内容 |
| --- | --- | --- |
| 1 | text | テキスト | 文字の入力が可能なテキスト入力欄。 |
| 2 | textarea | テキストエリア | 文字の入力が可能なテキスト。改行の入力が可能。 |
| 3 | link | リンク | 別サイトへのハイパーリンク。「リンク名」・「リンク先URL」を設定する。リンク名が未記入の場合はリンク先URLをそのまま表示する。 |
| 4 | checkbox | チェックボックス | 項目を複数選択が可能なチェックボックス。メタデータセットの「候補値」で項目を設定する。 |
| 5 | radiobutton | ラジオボタン | 項目を１つだけ選択可能な選択式のラジオボタン。メタデータセットの「候補値」で項目を設定する。 |
| 6 | pulldownmenu | プルダウンメニュー | 項目を１つだけ選択可能なプルダウンメニュー。メタデータセットの「候補値」で項目を設定する。 |
| 7 | name | 氏名 | 氏名の入力が可能なテキスト入力欄。「姓」・「名」・「姓（ヨミ）」・「名（ヨミ）」・「メールアドレス」・「外部著者ID」・「英語表記」を設定する。 |
| 8 | thumbnail | サムネイル | サムネイル画像としてイメージデータを表示。 |
| 9 | file | ファイル | ダウンロード可能なコンテンツファイル。 |
| 10 | file\_price | 課金ファイル | 料金設定が可能なコンテンツファイル。１つのアイテムタイプに２つ以上の課金ファイル項目は定義できない。 |
| 11 | biblioinfo | 書誌情報 | 雑誌情報。「雑誌名」・「雑誌名（英）」・「巻」・「号」・「開始ページ」・「終了ページ」・「発行年月日」を設定する。 |
| 12 | date | 日付 | 日付情報を設定。 |
| 13 | heading | 見出し | 見出しを設定。「大見出し」・「大見出し（英）」・「小見出し」・「小見出し（英）」を設定する。１つのアイテムタイプに２つ以上の見出し項目は定義できない。 |
| 14 | supplementalcontents | サプリメンタルコンテンツ | サプリメンタルコンテンツ（連携している外部WEKOリポジトリに登録されているアイテム）へのリンクを表示。１つのアイテムタイプに２つ以上のサプリメンタルコンテンツ項目は定義できない。 |

### メタデータ変換設定

メタデータファイルのカラム（データ列）がアイテムのどのメタデータ項目に登録されるかを対応付けることができる。具体的には、メタデータ項目に対してメタデータファイルの対応するカラムの名前を指定する。メタデータ項目のタイプによっては、対応するカラムが複数になる場合がある。例えば「link」タイプのメタデータ項目では、「リンク名」と「リンク先URL」を個別のデータ列としてメタデータファイルに記述するため、それぞれのカラム名を指定する。

アイテムのメタデータを対応するカラムに記述（１行１アイテム）

カラム名でメタデータ項目と対応付ける



図 5 メタデータファイル例

表 19 「タイプ1」メタデータ変換設定の例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| メタデータ項目名 | メタデータ項目タイプ | 対応カラム名 |
| タイトル | text | メタデータ | タイトル |
| タイトル(英) | text | メタデータ | タイトル(英) |
| 言語 | text | メタデータ | 言語 |
| キーワード | text | メタデータ | キーワード |
| キーワード(英) | text | メタデータ | キーワード(英) |
| 公開日 | date | メタデータ | 公開日 |
| リンク | link | リンク名 | リンク名 |
| リンク先URL | リンク先 |

メタデータの変換設定の詳細は以下の通り。

表 20 メタデータ変換設定

| No | 項目タイプ | 設定項目 | 内容 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | texttextareacheckboxradiobuttonpulldownmenusupplementalcontents | 「メタデータ」のカラム名 | メタデータを入力するカラムの名前。 |
| 2 | link | 「リンク名」のカラム名 | リンク名を入力するカラムの名前。 |
| 「リンク先URL」のカラム名 | リンク先URLを入力するカラムの名前。 |
| 3 | name | 姓と名が同じカラム | 姓名を同じカラムに入力するかどうか。true：「姓（＋名）」「姓(+名)(ヨミ)」カラムに姓名をカンマ区切りで入力。「名」「名（ヨミ）」カラムは使用しない。false：姓と名を別のカラムに分けて入力。 |
| 「姓(+名)」のカラム名 | 姓、または姓名を入力するカラムの名前。 |
| 「名」のカラム名 | 名を入力するカラムの名前。 |
| 「姓(+名)(ヨミ)」のカラム名 | 姓、または姓名のヨミ仮名を入力するカラムの名前。 |
| 「名(ヨミ)」のカラム名 | 名のヨミ仮名を入力するカラムの名前。 |
| 「メールアドレス」のカラム名 | メールアドレスを入力するカラムの名前。 |
| 「外部著者ID」のカラム名 | 外部著者IDを入力するカラムの名前。 |
| 「英語表記」のカラム名 | 英語表記を入力するカラムの名前。 |
| 4 | filefile\_price | 表示形式 | アイテム詳細画面での表示形式。detail：ライセンスやダウンロード数などの詳細情報を表示。simple：ダウンロードリンクの張られたファイル表示名のみ表示。flash：ファイル内容をフラッシュ形式で表示。 |
| 「ファイル名（パス含む）」のカラム名 | 登録ファイルのパス（相対指定）を入力するカラムの名前。 |
| 「表示名」のカラム名 | 表示名を入力するカラムの名前。 |
| 「ファイル公開日」のカラム名 | ファイル公開日を入力するカラムの名前。 |
| 「flash公開日」のカラム名 | flash公開日を入力するカラムの名前。 |
| 「CCライセンス」のカラム名 | クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを入力するカラムの名前。 |
| 「自由記述ライセンス」のカラム名 | 自由記述ライセンスを入力するカラムの名前。 |
| 「非会員課金情報」のカラム名 | (file\_priceのみ）非会員課金情報を入力するカラムの名前。 |
| 「課金情報」のカラム名 | (file\_priceのみ)課金情報を入力するカラムの名前。 |
|  | thumbnail | 「ファイル名（パス含む）」のカラム名 | 登録画像ファイルのパス（相対指定）を入力するカラムの名前。 |
|  | biblioinfo | 開始／終了ページが同じカラム | ページを同じカラムに入力するかどうかtrue：「開始ページ」カラムに開始ページと終了ページをデリミタ区切りで入力。「終了ページ」カラムは使用しない。false：「開始ページ」カラムと「終了ページ」カラムに分けて入力。 |
|  | 「雑誌名」のカラム名 | 雑誌名を入力するカラムの名前。 |
|  | 「雑誌名(英）」のカラム名 | 雑誌名（英）を入力するカラムの名前。 |
|  | 「巻」のカラム名 | 巻を入力するカラムの名前。 |
|  | 「号」のカラム名 | 号を入力するカラムの名前。 |
|  | 「開始ページ」のカラム名 | 開始ページを入力するカラムの名前。 |
|  | 「終了ページ」のカラム名 | 終了ページを入力するカラムの名前。 |
|  | 「発行年月日」のカラム名 | 発行年月日を入力するカラムの名前。 |
| 12 | date | 「日付」のカラム名 | 日付を入力するカラムの名前。 |
| 13 | heading | 「大見出し」のカラム名 | 大見出しを入力するカラムの名前。 |
|  | 「大見出し（英）」のカラム名 | 大見出し（英）を入力するカラムの名前。 |
|  | 「小見出し」のカラム名 | 小見出しを入力するカラムの名前。 |
|  | 「小見出し（英）」のカラム名 | 小見出し（英）を入力するカラムの名前。 |

## フィルター取り込み

5.1リポジトリ接続で指定したリポジトリに定義されているアイテムタイプ情報をメタデータセットとして取り込み、ローカルPCのフィルター情報に反映することができる。取り込んだフィルターは、接続先リポジトリへのデータ一括登録に使用することができる。

### メタデータセット差分表示

フィルター取り込み時に、リポジトリとローカルPCのフィルターそれぞれのメタデータセット定義を並べて表示し、異なる箇所を明示的に出力することができる。差異がある場合は警告が出力され、フィルターの上書き確認が行われる。上書きを実行する場合、リポジトリのアイテムタイプの状態でフィルターのメタデータセットを上書きする。

## テンプレート出力

フィルターのメタデータセット情報からヘッダ情報を作成し、テンプレートファイル（Excel形式）を出力することができる。出力先はファイル選択画面で指示することができる。テンプレートファイルはヘッダのみが記述されたメタデータファイルであり、メタデータ行を記入してデータ一括登録に使用することができる。

### テンプレートファイル

テンプレートファイルには、フィルターに設定した行番号にヘッダを出力する。ヘッダには、アイテムタイプ名のカラムと、すべてのメタデータ項目の対応カラム名を設定する。

表 21 テンプレート情報（設定例）

|  |  |
| --- | --- |
| 設定項目 | 設定値 |
| アイテムタイプカラム名 | アイテムタイプ |
| ヘッダ行番号 | 2 |
| メタデータ開始行番号 | 3 |

表 22メタデータセット（設定例）

|  |  |
| --- | --- |
| アイテムタイプ名 | メタデータ項目の対応カラム名 |
| タイプ１ | タイトル、タイトル（英）、言語、キーワード、キーワード（英）、公開日、リンク名、リンクURL |
| タイプ2 | タイトル、タイトル（英）、言語、キーワード、キーワード（英）、公開日、コメント |



ヘッダ行（行番号=2）にすべての対応カラム名を出力

図 6 テンプレートファイル（出力例）

# メタデータファイル

メタデータファイルには、一括登録するコンテンツデータのメタデータを記述する。表 23のファイル形式で作成することができる。表形式のデータファイルであり、カラム（列）が入力するメタデータ、行が登録するアイテムに対応する。TSV、CSV形式のファイルの場合も、区切り文字でカラムを分割した表形式のデータとして扱う。

表 23 メタデータファイル形式

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 形式 | 拡張子 | 備考 |
| EXCEL | xls / xlsx |  |
| TAB区切りテキスト（TSV） | tsv / txt | UTF-8（BOMなし） |
| カンマ区切りテキスト（CSV） | csv | Shift-JIS/UTF-8（BOMあり） |

メタデータファイルは、１つのヘッダ行と複数のメタデータ行で構成する。

ヘッダ行



メタデータ行（登録アイテム毎に１行）

図 7 メタデータファイル

ヘッダ行には、データ行で入力するメタデータのカラム名を設定する。フィルターのテンプレート情報「ヘッダ行番号」で指定した行に入力する。「ヘッダ行番号」より前の行は処理しないため、コメントなどを自由に入力することができる。

メタデータ行の各カラムへの入力により、カラム名に対応するアイテムのメタデータ項目に入力値を登録することができる。リポジトリに登録するアイテム１つに対して、１行のメタデータを入力する。メタデータ行は、フィルターのテンプレート情報「メタデータ開始行番号」で指定した行から登録するアイテム数分の行データを入力する。「ヘッダ行番号」と「メタデータ開始行番号」の間の行は処理しないため、コメントなどを自由に入力することができる。

メタデータファイルに入力可能なカラムの一覧を表 24 カラム種別に示す。ヘッダ行にカラム名、メタデータ行にアイテムに登録するメタデータを入力する。

表 24 カラム種別

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| カラム種別 | カラム名 | 列入力 | 内容 |
| アイテムタイプ名 | （フィルターで定義） |  必須 | アイテムタイプ名を入力するカラム |
| メタデータ | （フィルターで定義） | 必須（必須項目のみ） | アイテムのメタデータ項目に設定するメタデータを入力するカラム |
| 登録先インデックス | POS\_INDEX | オプション | アイテムの登録先インデックスを個別設定するカラム |
| アイテムキー | ITEM\_KEY | オプション | 登録するコンテンツファイルのローカルフォルダ名を設定するカラム |
| フェードバックメール | FEEDBACK\_MAIL | オプション | アイテムの利用統計フィードバックメールの送信先を設定するカラム |
| CNRI | CNRI | オプション | 新規登録するアイテムのCNRI形式のパーマリンクを設定するカラム |
| selfDOIタイプ | SELF\_DOI\_RA | オプション | 「selfDOI」カラムのselfDOI種別を設定するカラム（DOI変更モード時のみ有効） |
| selfDOI | SELF\_DOI | オプション | selfDOI形式のパーマリンクを設定するカラム（DOI変更モード時のみ有効） |
| アイテムURL | WEKO\_URL | システム処理で追加 | 登録アイテムの詳細画面のURLを設定するカラム |
| 登録データ識別キー | REGISTER\_KEY | オプション | 登録データの識別キーを設定するカラム |
| サプリデータ識別キー | SUPPLEMENT\_KEY | オプション | サプリメンタルコンテンツとしてリンクする登録データの識別キーを設定するカラム |

## アイテムタイプ名カラム

メタデータを登録するアイテムのアイテムタイプ名を入力する。ヘッダ行には、7.1.1テンプレートの「アイテムタイプカラム名」を設定する。指定したアイテムタイプがフィルタのメタデータセットに定義されていない場合、データ変換時にエラーとなる。

メタデータは指定したアイテムタイプのアイテムとしてリポジトリに登録される。登録先のリポジトリに名前と設定の一致するアイテムタイプが存在しない場合、新規に作成される。

表 25 アイテムタイプ名カラム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| フィルタに設定したアイテムタイプカラム名 | メタデータを登録するアイテムのアイテムタイプ名 | 必須入力、アイテムタイプ名カラムは１列のみ |

## メタデータカラム

登録アイテムに設定するメタデータを入力する。8.1アイテムタイプ名カラムで指定したアイテムタイプの各メタデータ項目ごとに7.1.4メタデータ項目タイプに応じて対応するカラムを設定する。タイプごとの詳細は8.2.1～8.2.12を参照のこと。

**（メタデータ必須入力）**

7.1.3メタデータ項目で必須オプションが有効で、カラム（列）が無い、あるいは値が未入力の場合、データ変換時にエラーとなる。

**（メタデータ複数入力）**

7.1.3メタデータ項目で複数可オプションが有効な場合、１つのメタデータ項目に複数のメタデータを登録することができる。

メタデータファイルでの入力は、以下の２つの方法がある。複数可オプションが無効な場合は先頭のメタデータのみ登録される。

1. 指定したデリミタでメタデータを複数に区切る
2. 同じカラム名で複数のカラム（列）を作成する



図 8 メタデータ複数入力①



図 9 メタデータ複数入力②

### テキスト（text）

テキストタイプのメタデータ項目に登録するテキストデータを入力する。

表 26 テキストの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「メタデータ」のカラム名 | メタデータ項目に登録するテキストデータ。 |  |

### テキストエリア（textarea）

テキストエリアタイプのメタデータ項目に登録するテキストデータ（複数行）を入力する。

表 27 テキストエリアの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「メタデータ」のカラム名 | メタデータ項目に登録するテキストデータ。改行の使用が可能。 |  |

### リンク（link）

リンクタイプのメタデータ項目に設定するハイパーリンクを入力する。

表 28 リンクの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「リンク名」のカラム名 | リンク名として登録するテキストデータ。未入力時はリンク先URLが表示される。 |  |
| 「リンク先URL」のカラム名 | リンク先URLとして登録するテキストデータ。 |  |

### チェックボックス（checkbox）

チェックボックスタイプのメタデータ項目で選択（チェック）する候補値を入力する。

表 29 チェックボックスの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「メタデータ」のカラム名 | 選択する項目値。フィルタに設定した候補値の中から選択する項目を設定する。 | 複数項目の選択が可能。 |

### ラジオボタン（radiobutton）

ラジオボタンタイプのメタデータ項目で選択する候補値を入力する。

表 30 ラジオボタンの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「メタデータ」のカラム名 | 選択する項目値。フィルタに設定した候補値の中から選択する項目を設定する。 | １つの項目のみ選択可能。 |

### プルダウンメニュー（pulldownmenu）

プルダウンタイプのメタデータ項目で選択する候補値を入力する。

表 31 プルダウンの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「メタデータ」のカラム名 | 選択する項目値。フィルタに設定した候補値の中から選択する項目を設定する。 | １つの項目のみ選択可能。 |

### 氏名（name）

氏名タイプのメタデータ項目に登録する姓名を入力する。氏名の情報はアイテムと同時に、リポジトリの著者名典拠管理にも登録される。

姓と名の同じカラムにするか別のカラムに分けて入力するかどうかは、フィルターの7.1.5メタデータ変換設定で設定することができる。

表 32 氏名の入力項目

| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| --- | --- | --- |
| 「姓」のカラム名 | メタデータ項目に登録する姓。 | 「姓と名が同じカラム」の場合は姓名を設定する。 |
| 「名」のカラム名 | メタデータ項目に登録する名。 | 「姓と名が同じカラム」の場合は使用しない。 |
| 「姓（ヨミ）」のカラム名 | メタデータ項目に登録する姓のヨミ仮名。 | 「姓と名が同じカラム」の場合は姓名のヨミ仮名を設定する。 |
| 「名（ヨミ）」のカラム名 | メタデータ項目に登録する名のヨミ仮名。 | 「姓と名が同じカラム」の場合は使用しない。 |
| 「メールアドレス」のカラム名 | メタデータ項目に登録するメールアドレス。 |  |
| 「外部著者ID」のカラム名 | メタデータ項目に登録する外部著者ID。 |  |
| 「英語表記」のカラム名 | メタデータ項目に登録する氏名の英語表記。 |  |

### サムネイル（thumbnail）

サムネイルタイプのメタデータ項目に登録するイメージファイルのパスを入力する。登録したイメージはWEKOモジュールのアイテム詳細画面に表示される。WEKOモジュールでサムネイルとしてサポートするイメージファイルは表 34イメージファイルのサポート形式を参照のこと。

表 33 サムネイルの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「ファイル名（パス含む）」のカラム名 | 登録するイメージファイルのパス。メタデータファイルの配置フォルダを基準とした相対パスで指定する。 |  |

表 34イメージファイルのサポート形式

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容 |
| ファイル形式（拡張子） | GIF形式（gif）、JPEG形式（jpg、jpeg）、PNG形式（png）、Windowビットマップ形式（bmp）、TIFF形式（tiff、tif）※拡張子の大文字、小文字は区別しない |
| ファイルサイズ | ２MB以下 |
| 画像サイズ | 横280px×縦200px 以内 |

### ファイル（file）、課金ファイル（file\_price）

ファイルタイプのメタデータ項目に登録するコンテンツファイルのパスを入力する。登録したファイルはWEKOモジュールのアイテム詳細画面からダウンロードすることができる。

課金ファイル（file\_price）の場合、課金情報の設定により課金サーバとの連携で課金処理を行うことができる。

表 35 ファイルの入力項目

| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| --- | --- | --- |
| 「ファイル名（パス含む）」のカラム名 | 登録するコンテンツファイルのパス。ファイル名のみ、またはメタデータファイルの配置フォルダを基準とした相対パスで指定する。 |  |
| 「表示名」のカラム名 | アイテム画面でファイルに表示する名前。 |  |
| 「ファイル公開日」のカラム名 | ファイルの公開日。以下のいずれかの形式で入力する（数値は0埋めでも可、時分秒は使用しない）。<YYYY/M/D><YYYY-M-D><YYYY/M/D h:m:s><YYYY-M-D h:m:s> |  |
| 「flash公開日」のカラム名 | flashファイルの公開日。登録したflashファイルは指定した公開日までは参照できない。 | 7.1.5メタデータ変換設定で表示形式をflashとした場合のみ指定。 |
| 「CCライセンス」のカラム名 | コンテンツファイルに設定するクリエイティブ・コモンズ・ライセンス。 |  |
| 「自由記述ライセンス」のカラム名 | コンテンツファイルに設定する自由記述ライセンス。 |  |
| 「非会員課金情報」のカラム名 | 非会員課金情報。 |  |
| 「課金情報」のカラム名 | 課金金額（円）。 |  |

### 書誌情報（biblioinfo）

書誌情報タイプのメタデータ項目に登録する雑誌情報を入力する。開始／終了ページを同じカラムにするか別のカラムに分けて入力するかどうかは、フィルターの7.1.5メタデータ変換設定で設定することができる。

表 36 雑誌情報の入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「雑誌名」のカラム名 | メタデータ項目に登録する雑誌名。 |  |
| 「雑誌名（英）」のカラム名 | メタデータ項目に登録する雑誌の英語名。 |  |
| 「巻」のカラム名 | メタデータ項目に登録する巻。 |  |
| 「号」のカラム名 | メタデータ項目に登録する号。 |  |
| 「開始ページ」のカラム名 | メタデータ項目に登録する開始ページ。 | 「開始／終了ページが同じカラム」の場合は終了ページも合わせて設定する。 |
| 「終了ページ」のカラム名 | メタデータ項目に登録する終了ページ。 | 「開始／終了ページが同じカラム」の場合は使用しない。 |
| 「発行年月日」のカラム名 | メタデータ項目に登録する発行年月日。以下のいずれかの形式で入力する（数値は0埋めでも可、時分秒は使用しない）。<YYYY><YYYY/M><YYYY-M><YYYY/M/D><YYYY-M-D><YYYY/M/D h:m:s><YYYY-M-D h:m:s> |  |

### 見出し（heading）

見出しタイプのメタデータ項目に登録する情報を入力する。

表 37 見出しの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「大見出し」のカラム名 | メタデータ項目に登録する大見出し。 |  |
| 「大見出し（英）」のカラム名 | メタデータ項目に登録する大見出し（英）。 |  |
| 「小見出し」のカラム名 | メタデータ項目に登録する小見出し。 |  |
| 「小見出し（英）」のカラム名 | メタデータ項目に登録する小見出し（英）。 |  |

### サプリメンタルコンテンツ（supplementalcontents）

サプリメンタルコンテンツのメタデータ項目にサプリメンタルコンテンツへのリンクを入力する。

リンクするサプリメンタルコンテンツは、「サプリWEKO」にアイテムとして登録が完了している必要がある。サプリデータ識別キー（SUPPLEMENT\_KEY）カラムを使用することで「サプリWEKO」へのアイテム登録とサプリメンタルコンテンツのリンク作成を一括して行うことができる。

表 38 サプリメンタルコンテンツの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| 「メタデータ」のカラム名 | 登録したアイテムからリンクするサプリメンタルコンテンツのURL。SUPPLEMENT\_KEYカラムを使用する場合、作成したサプリメンタルコンテンツリンクのURLをSCｆWのシステム処理で設定する。 |  |

## 登録先インデックスカラム（POS\_INDEX）

SCfWによるデータ一括登録は、登録先として選択したインデックス直下にすべてのコンテンツデータをアイテムとして登録する。アイテム毎に異なるインデックスを登録先とする場合に本カラムを使用する。

POS\_INDEXカラムには、登録先のインデックス名を入力する。該当アイテムは、選択したインデックス直下でインデックス名の一致するインデックスに登録することができる。インデックスが選択されていない場合は、ルートインデックス直下でインデックス名の一致するインデックスに登録する。リポジトリに登録先のインデックスが無い場合は新規に作成する。

表 39 POS\_INDEXの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| POS\_INDEX | アイテムの登録先インデックスの名称。選択インデックス直下で名称の一致するインデックスが登録先となる。「\ / : \* ? " < > |」は使用できない。パイプ（|）区切りで複数指定が可能。 |  |

## アイテムキーカラム（ITEM\_KEY）

複数のアイテムで登録するファイルの名称が同じ場合に、ファイルのメタデータ項目と合わせて本カラムを使用する。

メタデータファイルと同階層にフォルダを作成して同名のファイルを配置し、アイテム毎に対応するフォルダの名称を指定することで、同名のファイルを登録することができる。

ver.2.3.0以降のSCfWではコンテンツファイルを相対パスで指定可能なため、本カラムを使用する必要は無い（旧バージョンとのデータ互換用）。

表 40 ITEM\_KEYの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| ITEM\_KEY | ファイルのメタデータ項目で登録するファイルを配置するフォルダの名前。フォルダはメタデータファイルと同じ場所に作成する。 |  |

## フィードバックメールカラム（FEEDBACKMAIL）

アイテムの利用統計フィードバックメールを送信するメールアドレスを入力する。氏名タイプのメタデータ項目に登録したいずれかの著者のメールアドレスを指定する。

表 41 FEEDBACKMAILの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| FEEDBACKMAIL | アイテムの利用統計フィードバックメールの送信先として設定するメールアドレス。パイプ（|）区切りで複数指定が可能。 |  |

## CNRIカラム（CNRI）

CNRI形式のアイテムのパーマリンクを入力する。パーマリンクの設定を維持したままアイテムを再登録する場合に使用する。

表 42 CNRIの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| CNRI | アイテムの詳細画面にアクセスするためのCNRI形式のパーマリンク。以下の形式で指定する。・http://hdl.handle.net/<prefix>/<suffix>・<prefix>/<suffix>prefixはWEKOリポジトリのCNRI設定で指定されたprefixと一致している必要がある。 |  |

## selfDOIカラム（SELF\_DOI\_RA, SELF\_DOI）

selfDOI形式のアイテムのパーマリンクを入力する。

SCfWがDOI変更モード中であるかどうか、または、登録先リポジトリのWEKOモジュール設定により、DOI suffixの付与を行う。

表 43 selfDOIの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| SELF\_DOI\_RA | アイテムに付与するDOIの登録機関（RA属性）。JaLC、DataCite、CrossRef のいずれかを指定する。未入力の場合、DOI付与されない。 |  |
| SELF\_DOI | アイテムの詳細画面にアクセスするためのselfDOI形式のパーマリンク。DOI suffixを自動発番する場合は未入力とする。DOI suffixを自由入力する場合は、以下のいずれかの形式でDOIのprefix/suffixを入力する・http://doi.org/<prefix>/<suffix>・http://dx.doi.org/<prefix.><suffix>・doi:<prefix>/<suffix>・info:doi/<prefix>/<suffix>・<peffix>/<suffix>・<suffix>半角英数字および半角記号「\_-.;()/」のみ。英字の大文字と小文字は区別しない。<suffix>に8桁の数字は指定不可。<prefix>および<suffix>併せて290文字以内。 |  |

### DOI変更モード

WEKOモジュール設定に関係なく、selfDOカラムの入力内容によってDOI suffixの自動発番／自由入力のいずれかを実行することができる。また、通常モードと異なり登録済みのアイテムに付与されているDOIの変更も行うことができる。

表 44 DOI付与（DOI変更モード）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 登録メタデータ | アイテム状態 | DOI付与 |
| RA属性のみ指定（suffix未入力） | DOI未付与、または新規登録アイテム | 指定したRA属性でDOI suffixを自動発番。 |
| 自動発番でDOI付与済み | 指定したRA属性に変更。suffixは変更しない。 |
| 自由入力でDOI付与済み | 指定したRA属性に変更。発番済みのsuffix（Yハンドル）が無い場合は新たにsuffixを自動発番。存在する場合はsuffixは変更しない。 |
| RA属性＋suffix指定 | 新規アイテム登録 | 指定したRA属性＋suffixでDOIの付与、またはDOI変更。 |
| 自動発番でDOI付与済み |
| 自由入力でDOI付与済み |

### 自動発番モードの場合

WEKOモジュール設定がDOI suffix自動発番モードとなっている場合、指定したRA属性でDOI suffixを自動発番することができる。登録済みのアイテムに付与されているDOIの変更を行うことはできない。

表 45 DOI付与（自動発番）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 登録メタデータ | アイテム状態 | DOI付与 |
| RA属性のみ指定（suffix未入力） | DOI未付与、または新規登録アイテム | 指定したRA属性でDOI suffixを自動発番。 |
| DOI付与済み | 何も行わない（エラー終了としない）。 |
| RA属性＋suffix指定 | － | 自動発番モードではsuffixは指定不可（エラー終了）。 |

### 自由入力モードの場合

WEKOモジュール設定がDOI suffix自由入力モードとなっている場合、指定したRA属性＋DOI suffixでDOI付与を行うことができる。登録済みのアイテムに付与されているDOIの変更を行うことはできない。

表 46 DOI付与（自由入力）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 登録メタデータ | アイテム状態 | DOI付与 |
| RA属性のみ指定（suffix未入力） | － | 自由入力モードではsuffixは必須入力（エラー終了）。 |
| RA属性＋suffix指定 | DOI未付与、または新規登録アイテム | 指定したRA属性＋suffuxでDOI 付与。 |
| DOI付与済み | 何も行わない（エラー終了としない）。 |

## アイテムURL（WEKO\_URL）

登録済みアイテムの詳細画面表示用のURLを入力する。本カラムにURLを入力することで、登録済みのアイテムに対してメタデータやコンテンツファイルの更新を行うことができる。

SCfWによるデータ一括登録の完了時に、入力したメタデータファイルにWEKO\_URLカラムを追加し、アイテムURLを保存することができる。

表 47 WEKO\_URLの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| WEKO\_URL | 登録したアイテムのURL（詳細画面表示用）。入力したURLのアイテムに対してコンテンツデータを上書き登録する。 | SCｆWによるシステム処理で設定。 |

## 登録データ識別キー（REGISTER\_KEY）

データ一括登録するコンテンツデータ（アイテム）の識別情報を入力する。一括登録するすべてのデータで一意に割り当てる必要がある。サプリメンタルコンテンツでリンク先を指定するために使用する。

表 48 REGISTER\_KEYの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| REGISTER\_KEY | 登録コンテンツデータの識別キー。設定内容は任意だが、同時に一括登録するコンテンツデータで一意になるように設定する（連番など）。複数のメタデータファイルを同時に登録する場合は、すべてのメタデータファイルで一意に設定する必要がある。 |  |

## サプリデータ識別キー（SUPPLEMENT\_KEY）

サプリメンタルコンテンツとしてリンクするコンテンツデータの登録データ識別キーを入力する。同時に登録するサプリメンタルコンテンツへリンクを作成する場合に使用する。本カラムに設定した識別キーのコンテンツデータの登録先アイテムにサプリメンタルコンテンツリンクを作成することができる。設定対象のアイテムはサプリメンタルコンテンツ項目を定義したアイテムタイプである必要がある。

表 49 SUPPLEMENT\_KEYの入力項目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| カラムヘッダ | メタデータ | 備考 |
| SUPPLEMENT\_KEY | リンク先となるサプリメンタルコンテンツデータの登録データ識別キー（REGISTER\_KEY）。登録データに該当するデータが無い場合はエラーとなる。 |  |

以上